

Professional Institute of International Fashion

国際ファッション専門職大学

2024年度・第1回公開講座@ZOOMウェビナー

参加
無料



下記のURLもしくはQRコードから登録フォームにアクセスしていただき、参加の申し込みを行なって下さい。ご登録いただいたメールアドレスにウェビナーIDとパスワードが自動送信されます。▶ <https://x.gd/ppgsX>

9.1 2024 (Sun) 13:00 ▶ 14:30

Lecture title

「天然皮革は本当にサステナブルなのか？」

— エシカル・アニマルウェルフェア、ヴィーガンレザー、ジビエレザーと「循環型経済」 —

天然皮革は人類最古の衣服といわれています。1991年にヨーロッパの氷河の中から5300年前のアイスマンが発見され、革のコート、革のレギンス、毛皮の帽子、革の靴など、全身革の衣服を身につけていました。

一方で、SNSなどのメディアで、動物を殺して革を取っているなどの誤った情報が拡散されています。2012年には、サステナブル・アパレル連合(SAC)の環境・社会負荷の測定ツール「ヒグ・インデックス」による、天然皮革は環境負荷が大きいという誤ったデータが公表されたことにより、その誤認はさらに広まりました。

さらに昨今、「ヴィーガンレザー」と称する非動物性のアップルやキノコなどの原料を使った素材を〇〇レザーと呼ぶなど、消費者に誤解を招く用語の乱用も問題になっています。これに関しては、2024年4月からJIS(日本産業規格)によって、革・レザーに関する新たな定義が定められました。

本公開講座では、皮と革の違い、革なめしの歴史や、革ができるまでの工程など、天然皮革についての基本的な知識を一般の方に向けてわかりやすく解説します。

天然皮革の特性と魅力を知ることで、人工皮革や合成皮革との違いを理解し、天然皮革は我々人間の食の副産物であること、さらに生きた証としてのナチュラルマークが存在するために、大量生産には向かない素材であることを説明していきます。

また、ナチュラルマークがあることで、タンナーの在庫となっ
てしまっている規格外の革を活用する産学連携プロジェクトの成果を事例として紹介し、さらに現在取り組んでいる新たなプロジェクトについてもお話しするつもりです。

最後に、日本全国で、野生の鹿や猪などの農林被害が問題
になっています。これらジビエレザーの課題と利活用の取り組み事例についてもご紹介していきます。これらの報告を通して、「天然皮革は本当にサステナブルなのか？」という問いについて皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。

Speaker

Hideki Hirai



▶ 平井秀樹 (国際ファッション専門職大学教授)

埼玉大学大学院 人文社会科学部 経済経営専攻 博士後期課程 修了。博士(経営学)。首都大学東京(現:東京都立大学)大学院 ビジネススクール 修了。MBA。株式会社ジュンにてマーケティングディレクターに着任し、同社ブランドのリモデル戦略立案や新規ブランド開発などに従事。その後「optitude(オブティチュード)」事業部長としてブランド事業を統括する。株式会社ワールドでは「Harrods(ハロッズ)」ブランドマネージャーを経て、複数の新規ブランド開発やコラボレーション開発などに携わる。著書(分担執筆)に『繊維・アパレルの集団間・地域間競争と産地の競争力再生』(文真堂)がある。ファッションビジネス学会理事。